

コース： \_\_\_\_\_ コース / 受講番号： \_\_\_\_\_ / 氏名： \_\_\_\_\_

## 事例（水道橋 久さん）本人を知るための地図

★私の今の願い・希望は〇〇です

★私の将来の夢・希望は〇〇です

★私の不安や気にしていることは？



★私自身・家族・環境のストレングス（強み）

★私は、今までこんな生活をしてきました。生き方を  
してきました。

★私は今このような環境で生活をしています。

100 文字アセスメント（次ページに説明がありますのでご確認ください。）

## ※100 文字アセスメントについて

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別支援計画を作成する際、大切な事の1つとして「本人主体、本人目線」があります。</li> <li>しかし、作成をしていく段階で、知らぬ間に支援者目線や支援者主体となったり、課題克服の計画になってしまうことが起こり得ます。それを防ぐ方法として100文字アセスメントがあります。</li> </ul>
活用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご本人の想いや核心を捉え、支援の軸（本質）を定めることにつながります。</li> <li>・ ニーズ整理や個別支援計画を作成する際に迷ってしまった時には、100文字アセスメントに立ち返り考えてみます。</li> </ul>
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご本人の解決したい課題・困りごと等の「思い」を100文字程度で要約、アセスメントします。</li> <li>・ 主語は「私」「僕」「俺」等から始めます。</li> <li>・ アセスメントから知り得た情報（想い、夢、ストレングス、困りごと等）を本人の言葉を用いて作成します。</li> </ul> <p>その際、支援者が、本人の言葉を変換したりしてしまうと、そのものの意味合いや想いまで変わってしまうため、本人の言葉をそのまま使用します。</p>

・「私は・・・」で始めます。

（※以下の書き方の例示は、事前課題の事例「水道橋さん」とは関係ありません。）

（平成30年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修の資料より抜粋）

- ①ぼくは、入院して10年目。日常家事はうまくできないけれど退院後はお金を自由に使ったり、人を気にせず自分のペースで生活したいので、アパートで一人暮らししたい。でも保証人もいないし……。それにどんな一人暮らしになるのかな？（108字。精神障害、統合失調症のある方）
- ②私は、病院や施設に入らずに自宅で介助者のサポートを受けながら生活していきたい。でもこのままだと夫の体調やお金の負担も心配。だれか私を介助してくれる人が来てくれないかしら……。 （87字。身体障害、肢体不自由のある方）